

九州大学法学部 2013年度後期 学生による授業評価アンケート

▶授業科目名: 外国政治書講読(英語)

▶担当: 関口正司

▶回答数: 22

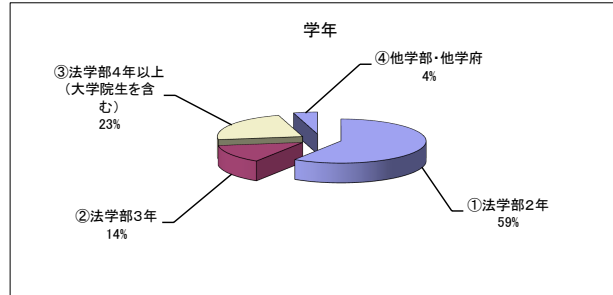
▶教員所見: なし

▶実施: 2014年1月29日

▶WEB公開: 2014年06月23日

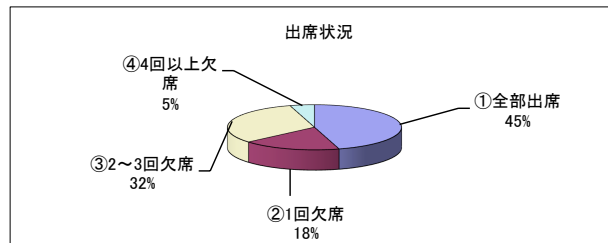
1. 学年

	件数	構成比
①法学部2年	13	59.1%
②法学部3年	3	13.6%
③法学部4年以上(大学院生を含む)	5	22.7%
④他学部・他学府	1	4.5%
合計	22	100.0%



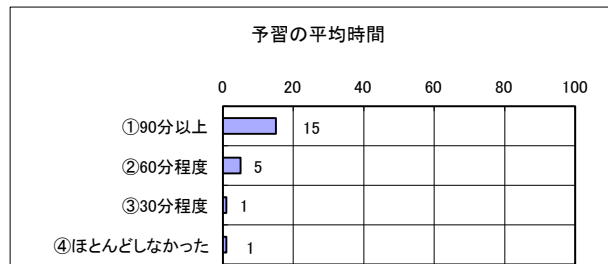
2. 出席状況について

	件数	構成比
①全部出席	10	45.5%
②1回欠席	4	18.2%
③2~3回欠席	7	31.8%
④4回以上欠席	1	4.5%
合計	22	100.0%



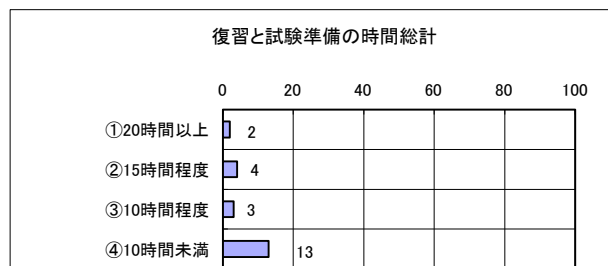
3-1. 予習の平均時間

	件数	構成比
①90分以上	15	68.2%
②60分程度	5	22.7%
③30分程度	1	4.5%
④ほとんどしなかった	1	4.5%
合計	22	100.0%



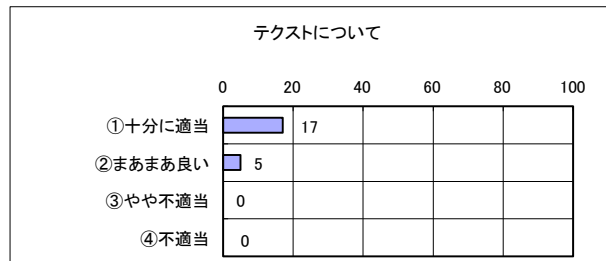
3-2. 復習と試験準備の時間総計

	件数	構成比
①20時間以上	2	9.1%
②15時間程度	4	18.2%
③10時間程度	3	13.6%
④10時間未満	13	59.1%
合計	22	100.0%



4. 使用したテキストは、適当であったか

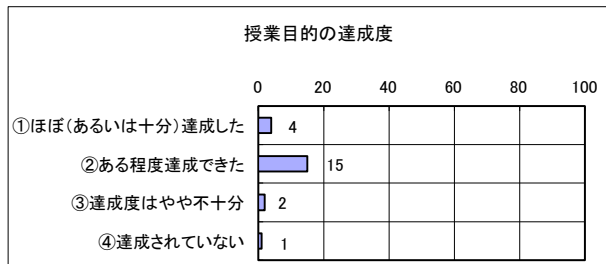
	件数	構成比
①十分に適当	17	77.3%
②まあまあ良い	5	22.7%
③やや不適當	0	0.0%
④不適當	0	0.0%
合計	22	100.0%



③・④の理由

5. 授業目的は達成できたと思うか

	件数	構成比
①ほぼ(あるいは十分)達成した	4	18.2%
②ある程度達成できた	15	68.2%
③達成度はやや不十分	2	9.1%
④達成されていない	1	4.5%
合計	22	100.0%



アイデア・提言(③・④を選択した場合はその理由)

- ・自分の予習が不十分であることが何度かあったため。(③と回答)
- ・受講者の人数にもよるかと思いますが、比較的参加人数が多い場合は、もう少し担当の区切りを短くした方が、複数回担当が回ってくる人も出てきて、受講に際しての態度やモチベーションが向上する人もいないかと思いました。
- ・日本語訳自体の理解に苦しむところがあるため。(③と回答)
- ・日本語の能力が上がったとは思えない。ほとんど機械的に英文を訳しているような感覚だった。翻訳版との訳の仕方の違いなども適宜いれてみたらどうでしょうか？
- ・日本語訳をもう少し直訳寄りにして後からわかりやすく説明していただくと英語力の養成になると思います。英語と政治学を両立して教えるのは時間的にも厳しいかと思いますが・・・
- ・努力不十分でした。申し訳ありません、出直します。(④と回答)
- ・できれば確定した訳を配布してほしい。